

- ◆ 岡山財務事務所においては、**地域連携・地域貢献を最重点事項と位置付け**、過去の事例にとどまることなく、「時代や社会が求めるものが大きく変わっていく中では、しなやかに対応しなければならない」とし、**独自性を発揮して新たな取組に挑戦**。
- ◆ 岡山県備前市の総合戦略策定にあたっては、**当所所長が有識者として参画し、実効性のある計画策定に寄与**。また、当所の主催する各種講演会においては、消費生活センターとの連携やマイナンバー制度を講演テーマに追加したことから、**企業・高齢者向けを中心に実施件数が増加**。参加者自ら「見る・感じる・参加する・そして創る！」講演会を演出するなど、よりわかりやすい内容により実施し、**地域が抱える課題解決の一助**となっている。
- ◆ **今後も、新たな取組を積極的に実施し、対象先のニーズに合わせた広報活動により、地域が直面する課題の解決に取り組む**。

1. 成果事例の概要等

(1) 地方創生に向けた取組

- 平成27年5月に岡山県備前市からの委嘱を受け、**行政分野における有識者として岡山財務事務所長が総合戦略の策定に参画**。懇談会は、4回にわたり開催され、当所内で検討した計画案への意見の表明や、各分野有識者との意見交換を実施。
- 27年10月に、**地域活性化や地方創生に向けた地方公共団体の取組を支援**する目的で、「財政投融资を活用した国の機関等による民間事業者向けの施策にかかる説明会」を開催（地方公共団体19団体の担当者29名が参加）。



【備前市総合戦略】

(2) 金融犯罪トラブル防止やマイナンバー制度周知に向けた取組

- 講演会開催先の裾野が、消費生活センターとの連携やマイナンバー制度を講演テーマに追加したことから、一般企業、高齢者等に拡大。
- 講演会に備え、当所内全職員を対象に「金融犯罪・トラブル」、「マイナンバー制度」についての説明会を実施。講師のスキルアップを図った。
- 「金融犯罪・トラブル防止」についての講演会では、「見る・感じる・参加する」をコンセプトに**体験型の寸劇を導入**。受講者の方々が、各地域で相談役になり、**お互いに守りあう風土創りを目指す**。

(3) 新たな地域連携 ～大学生を対象とする意見交換会・講話の実施～

- 27年6月に、岡山大学の学生から当所に対し、消費税増税に関する照会があったことを端緒として、当所若手職員との間で日本の財政をテーマとした意見交換会を企画・実施（学生5名参加）。
- 27年9月に、岡山商工会議所が受入を行っている学生インターンシップ※の職場訪問を受け、財務局の役割のほか、地域連携強化や金融業務などの業務説明の講話を実施。



【学生インターンシップの職場訪問】

※学生が一定期間企業などの中で研修生として働き、自分の将来に関連する就業体験を行う制度。

2. これまでの取組の成果等

- 岡山県備前市の総合戦略策定にかかる懇談会については、事前に同市から提示された戦略案に対し、当所内で事前検討を行い、まとめた意見を表明。**当所の意見が総合戦略に反映されるなど、実効性のある計画策定に寄与**。

- 受講者が寸劇に参加する「金融犯罪・トラブル防止」の体験型講演では、講演先から「寸劇は、非常に効果的」「わかりやすい」といった感謝の声や、再度の実施要請を受けている。



【講演に向けた寸劇練習風景】

- ・「金融犯罪・トラブル防止」講演
11件実施（27年7月～28年3月）
講演先：主に公民館での高齢者向け
- ・「マイナンバー制度」講演
24件実施（27年7月～28年3月）
講演先：一般企業、ロータリークラブ会員、消費者団体など



【講演会の様子】

- 当所の有するネットワークを活用し、大学生、地域経済界との連携から、意見交換会等積極的な取組につなげ、**更なる連携深化へ発展**。

3. 今後の課題と岡山財務事務所の対応

＜今後の課題＞

- 地方創生では、総合戦略の実施段階においても、当所が地域に必要とされる存在となり、引き続き積極的に関与していくことが課題。
- ネットワークの拡大のため、中・高校生向けに広報活動を拡大していくことが課題。

＜今後の岡山財務事務所の対応＞

- 今後も、新たな取組を積極的に実施し、ネットワークを拡大するとともに、対象先のニーズに合わせた広報活動等により、地域が直面する課題の解決に取り組む。